

# GSway

ともに歩み、ともに進む

9  
Mar. 2020

02 | 特集

## グローブシップが行うグローバル化への取り組み



06 | 新型コロナウイルス感染症対策情報

08 | 支店へようこそ！（埼玉支店）

09 | Information

10 | グローブシップナウ！

12 | 日本史の中のスーパーフード

戦略FMパートナー  
**GLOBESHIP**

## 事業と人材のグローバル化を加速

# お客さまのパートナーとして GSグループ全体の適応力を高める

GSグループ全体で目指しているのは、お客さまにとっての「戦略FMパートナー」であること。では、時代の移り変わりにともない、当社はお客さまに対してどのような高付加価値サービスを提供できるのでしょうか。今回は、事業と人材のグローバル化をテーマに、私どもの取り組みの現状をお伝えいたします。

## 事業のグローバル化で ニーズにお答えする

多くの日本企業やGSグループにとって、今後の経営に活路を見出すために、グローバル化は避けて通れない重要課題です。

当社でグローバル化に向けた取り組みの先駆けとなったのは、中国・上海にある日系ビルの設備管理業務です。当初は「日式(日本式)のビルメンテナンスを現地でも展開したい」というお客さまの声にお応えして開始しました。2007年に設立した上海のビル管理会社

には、100名以上の現地スタッフが働き、弊社は大きな役割を果たしています。

2016年3月には国内でのFM業界の動向を見据え、IFM\*業界のグローバル企業最大手である仏ソデクソ社と業務提携を締結。合併会社としてGSS社(グローブシップ・ソデクソ・コーポレートサービス株式会社)を設立しました。

お客さまの本業以外の業務を、全て受託可能とする、というIFMの基本的な考え方を経営活動に取り入れました。特に新たな業務の

枠を拡げてのメニュー化やサービスの標準化を目指すという意味でも、シナジー効果が生まれています。

「特に海外での売上比率が高いお客さまにIFMのご提案をさせていただくと、強い関心を示されます。実務者レベルではお客さまへのIFM勉強会も開催しています」と佐藤常務取締役は語ります。

さらに2019年12月には、アジア圏におけるFM事業展開の拠点として、ミャンマー・ヤンゴン市で現地法人「グローブシップ・サービス・ミャンマー」を設立しました。

また、インドネシア、ベトナムなどでは仏ソデクソ社の現地法人と連携しながら、商習慣・価値観等の理解を深めていきます。

## 人材のグローバル化で 人手不足の課題に取り組む

事業のグローバル化と同時に進めてきたのは、人材のグローバル化です。この背景には、まず深刻な人手不足が挙げられます。



活気あふれるヤンゴン市内中心部

GSグループ全体では、現在1,750人(パート含)の外国人従業員が所属しています。出身国はネパール、ベトナム、ミャンマーなど多様ですが、経営理念「GS WAY」を共有しています。

外国人従業員たちが、GSマインドを持った従業員として成長し、スキルを磨きお客さまへの対応ができるように将来を見据え、人材育成の面も日本人同様に注力しています。

## 専門部署の発足で 海外事業を強化

2018年10月に海外案件の実務部隊として新たにFMグローバル事業部が発足しました。同部には、それまでのグローバル開発部とFM推進部のノウハウが結集しています。

同部を担当する服部幸一取締役は、「収益の源泉を海外に求める企業は、これからも増加するでしょう。特に注目なのは、東南アジ

アを中心とした海外ディベロッパー事業です。建物を造り入居者を募集するだけでなく、『日本流の施設管理の体制が整っていること』が、高品質のビルの証だと捉えているからです」と語ります。

## 人口と内需が拡大する ミャンマーで、商機を見出す

GSグループでは、こうした背景を踏まえ、国内ディベロッパーのお客さまがオフィスビルやマンションなど建物施設を海外展開される際に、対象となる施設の管理

事業を提供していきます。

ミャンマーは国土68万km<sup>2</sup>、主要8民族から構成された人口約5,100万人の仏教国です。

同国では2016年の民主化以降、内需が増大、人口も拡大し続けており、日系企業はヤンゴン市だけでも400社近くが進出しています。

この度立ち上げたヤンゴンの現地法人は、会社の設立登記をして間がないため、従業員規則も雇用契約も調整はこれからです。一方で、現地の企業には、建物の保守・維持・点検といったビルメンテナンスの概念は、まだ根付いていません。

そのような中、東南アジア市場でGSの事業展開の足場を固める第一歩として、受託業務の営業活動を並行して行っています。GSのサービス展開、日本式マネジメントの浸透には地道な活動が必要となりますが、今後も根気強く続けてまいります。



服部幸一取締役



メイン通りからヤンゴン市内をのぞむ

# 多様な人材によって加速するダイバーシティ 外国人従業員雇用でのグローバル化

海外事業を推進するにあたっては、業務上、現地母国語や英語を使った内容が増加します。また、国内においては現場での人手不足が大きな課題となっています。GSグループでは、これらの現状を最前線で支える力として、外国人従業員の比率が高まっています。

## 海外事業の遂行に 欠かせない人的資源として

FMグローバル事業部には、インドネシア、中国、ミャンマーと出身の異なる3人の外国人従業員が所属。通常、業務は日本語で行っています。業務内容は、英語・中国語・ミャンマー語の翻訳・通訳をはじめ、書類・議事録の作成、各地のプロジェクトオーナーや担当者との連絡役を担うなど、広範囲で裁量を任せられています。

直接の上司となる同部の猪股圭介部長代理は「業務上、外国人と意識することはありません。今はアシスタント的ポジションですが、成長を重ねながら次のステップへと進み、堂々と能力をアピールしてほしいですね。将来的には今後も増えるであろう外国人従業員のリーダー的存在になってもらいたいです」と、期待を込めます。

また、服部取締役は、「グローバル化や多様化を安定的に推進していくためには国により文化や価値観、宗教的な面に違いがあることを当たり前として、それぞれに尊重しながら業務を進めていくことが大切だと感じています」と心構えを語っています。

## サービスの最前線で 活躍する外国人技能実習生

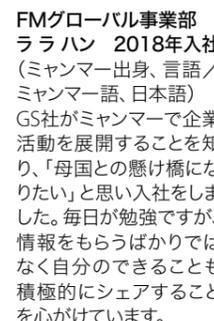
開発途上国への国際貢献と、日本のビルクリーニング技能継承のため、弊社も2017年から技能実習制度を導入しました。ミャンマーからの技能実習生は、今年3期生14名を迎えました。1・2期生を合わせると計34人となります。

採用に当たっては、人事部担当者がミャンマーに赴き詳細な業務内容の説明と最終面接を実施。GSグループでは、全ての技能実習生に良好な住居環境の提供、光熱・水道費等の一部負担免除、技能研修と日本語研修などの処遇をしています。

「人件費削減のために技能実習生の制度を利用するといった例もあるようですが、当社では技能実習生に専用の研修プログラムを用



**FMグローバル事業部**  
**レディ オルガディア**  
2017年入社（インドネシア出身、言語/英語、日本語、インドネシア語）  
潜在的なビジネスパートナーは、外国人従業員の存在を知ることによって会社に対する評価が高まるだけでなく、会社にとっても、既存の従業員の異文化コミュニケーション能力を高めるとともに、グローバル化に関する理解を深め、新たな視点を与えることができると思います。



**FMグローバル事業部**  
**ララハン** 2018年入社（ミャンマー出身、言語/ミャンマー語、日本語）  
GS社がミャンマーで企業活動を展開することを知り、「母国との懸け橋になりたい」と思い入社しました。毎日が勉強ですが、情報をもらうばかりではなく自分のできることも積極的にシェアすることを心がけています。

**FMグローバル事業部**  
**魏新新** 2017年入社（中国出身、言語/中国語、日本語、英語）  
日本の大学院で地球環境学を専攻しました。就職活動の中で、GS社が地球に優しい環境志向の会社であると知り、入社を決めました。今後、GS社には外国人が活躍できる場が増えていきますので、グローバル化を進めるためにも、より多様な国の従業員が増えると良いと思います。



写真左から、FMグローバル事業部のララハン、同じく魏新新、猪股圭介部長代理



業務内容だけでなく、滞在期間の全般に渡ってフォローするスン(写真下段、左端)。ミャンマー出身の外国人技能実習生34人。決められた手順で業務に就けるよう、技術とマナーを学びます。

意しました。お客さま先へ配属前には、約3週間をかけて必要なスキルと、GSマインドを理解してもらうよう、徹底した研修を行っ



## ■技能実習生からの声

**1期生 ポイター チン(左・ミャンマー出身)**  
「日本語を最初はぜんぜん話せなかった。今は上達したと思います。大学施設に配属され清掃を担当しています。仕事は慣れました。GSで働いてよかったと思います。ビザの問題もありますが、将来的にはビジネスマネジメントの勉強がしたいです」

**1期生 スイランタン(右・ミャンマー出身)**  
「仕事は楽しいです。日本語はうまくなってきたと思います。日本語は難しいですが、仕事の中で困る事はありません。日本は安全です。みんながルールを守ります。私はこの会社でもっと頑張りたいです。期限いっぱいこの会社で働きたいです」

ています(佐藤常務取締役)。現場で必要となるスキルは、GS研修センター(千葉県柏市)で学びます。研修を担当するのは、一般従業員の研修と同じく、安全品質推進部です。

3期生の基礎研修では、全員がお客さま先で細かく目配りできるように技能実習生14名に対して、5名のベテラン指導員が指導にあたりました。座学と実習で日本流の清掃について理解を深め、標準化されたサービスの手順を体得し、配属先で日本語を使って作業ができるよう育成しています。

## 日本語研修で さらにフォローアップ

技能実習生は入社から2年目になると、1か月に1回(3時間)日本語研修を受講します。普段から仕事を通じて日本語は学んでいる

ものの、漢字や正しい日本語を話すことに関しては、十分とは言えませんのでフォローアップの意味合いを込めて実施しています。

講師を担当する、教育研修部の佐藤課長は、「外国人を対象としたレベル別の日本語能力試験でも、合格者が出ています。研修で習得した日本語を現場で存分に生かしてほしい」と、語ります。

「実は、技能実習生としてGSへ入社を希望する方は多いです。志望動機を見ると、先に来た技能実習生とSNSを通じて情報交換した人や、現役実習生の親戚や知り合いなどの応募があります。近い人にも安心して紹介できる仕組みになったのではないかと考えています」(佐藤常務取締役)

今後も、技能実習生が配属先で安心して業務に就けるよう、継続したサポートをしていきます。

# ウイルス性疾患の感染防止のために

## 新型コロナウイルス感染症 (2019-HCoV) 対策情報

グローブシップ株式会社  
安全品質推進部  
清掃品質課課長  
**鈴木 悟**

2013年「ビルクリーニング科」(技能士コース)教科書を執筆。2016年厚生労働大臣感謝状(職業能力開発関係)受賞。現在、全国ビルメンテナンス協会専任講師・検定委員兼務。



### 感染防止のための基本事項

2020年2月22日付けの厚生労働省のWEBサイトに、今回の新型コロナウイルスが飛沫と接触で感染するとの情報が掲載されました。本稿では、専門家以外でもできる感染防止のための清掃について整理してみます。実際、感染防止は基本的なことを知るだけで十分対応できます。作業前後の手洗い、トイレ清掃のときの手袋使用、水拭きよりは除菌剤入りの洗剤で、さらに除菌と消毒の違いは何かなど、感染防止で重要なことを作業者が把握する必要があります。

そのうえで、感染防止のために最初に理解していなければならないことは、「感染経路」と「消毒剤」についてです。感染経路は以下の3つに分けられます。

①**空気感染**：過去に猛威を振った結核はウイルスではありませんが、空気感染で伝播する疾患です。結核患者がせきをすると菌を含んだ飛沫が7～8mは飛ぶといわれています。医療従事者が結核菌の出ている患者と接触する際には、N95マスクを着用し、患者側の方にはサージカルマスクを装着させます。

②**飛沫感染**：病原体を含んだ飛沫を鼻腔や咽頭の粘膜で吸い込んで起こります。飛沫は空気感染より水分が多く重いため、ほとんどの場合1mぐらいで落下します。風邪、インフルエンザがこれにあたります。

③**接触感染**：接触感染を引き起こす感染症は、MERSも含めた薬剤耐性菌感染症、腸管出血



性大腸菌、ノロ・ロタウイルス胃腸炎など多岐にわたり、接触感染で伝播していく感染症はたくさんあります。インフルエンザも飛沫だけでなく、接触感染でも起こりうるものです。汚染された手や手袋で触る部分が危険な箇所となります。

接触感染には「**直接感染**」と「**間接感染**」があります。直接感染は病原体を持っている人と直接接触することで感染します。予防としては、清掃前後の流水と石けんでの手洗い・擦式手指消毒液による手指消毒を行い、清掃時には使い捨ての手袋、ガウン、場合によってはエプロン、マスクを着用します。

一方、間接感染は、病原体を持っている人が接触した**ドアノブや手すり・器具などの環境や物を介しての感染で、医療従事者の手や使用した器具**が主な原因となります。このとき有効なのが**環境消毒**です。人体ではなく、接触して汚染されたドアノブや手すり・器具などの環境や物の消毒のことで、清掃で防げる唯一の感染経路です。環境消毒に使える消毒剤でも、人体そのものの消毒には使えないものがありますので、ご注意ください。環境表面に血液などの目に見える汚染がある場合は、必要に応じてその部位に適切な消毒剤を用いて消毒します。消毒剤の濃度を上げる場合もあります。床などを消毒する場合は清拭法で行います(参考『2019年度版 病院清掃の基本と実務』,公益財団法人全国ビルメンテナンス協会, p41)。

ほかにも、用語の意味にも注意が必要です。例えば、滅菌と消毒は我々が使用している除菌とは意味合いが違います。滅菌とは全ての微生物を擦滅または除去することです。消毒とは存在する微生物の数を減らすことを言います。

### 消毒薬の種類と拭き方

①**第四級アンモニウム塩**：いわゆる「逆性石けん」で、この薬剤と非イオン系の界面活性剤などとブレンドされた洗剤が除菌剤等の名称で販売されています(菌類やエンベロープを有する一部のウイルスに有効といわれていますが、多くのウイルスや結核菌には無効[不活化できない]です)。

②**エタノール**：消毒用の場合は80%前後の濃度が必要で、擦式消毒剤に使われます。乾燥が早いので十分な接触時間が取れないのが欠点。ノロウイルスなどには即効性がなく長時間の接触が必要となります。

③**次亜塩素酸ナトリウム**：家庭用の漂白剤でも有名で、0.1%、1000ppmで結核菌にも有効です。ウイルスも不活化できますが、有機物(例/食物・木製の手すり)と混ざると薬剤自体が不活性化してしまうため、体液(血液等)が付着している場合は事前に取り除く必要があります。塩素ガスの発生、漂白力が強いなど制約がありますが、ノロウイルスも含め日本ではウイルスの不活化薬剤としては最も一般的で効果が認められた薬品です。ただしアルカリ性も強く人体には使用できません。製品名ではミルトン、ピューラックス、医療用ハイターなどのよく知られた製品が市販されていますが、それぞれ濃度が異なるため、希釈には注意が必要です。ウイルスに対しては、アルコールよりも次亜塩素酸塩が有効です。ただし漂白作用が強く、金属の腐食性も高いため、どうしても次亜塩素酸塩が使用できない場所に前述のアルコールを使う例があります。

なお、消毒薬によって高水準、中水準、低水準の分類があります。消毒の3原則は「**接触時間**」「**濃度**」「**温度の厳守**」です。拭き取る場合は汚れを拡散しないため一方向への拭き方で行います(図参照)。しかも消毒剤のどれもが菌やウイルスに効果があるわけ

図:拭き方の例



ではありません(参考)。接触時間も重要です。どんなに強い消毒剤でもさっと触れただけでは消毒の効果は出ません。少なくとも数分以上の時間が必要です。タオルを使う拭き方ではダストクロスのようにヘッドを変えずに一方向へ拭く行為が必要です。隅に汚れの吹き溜まりができないように拭き取ります。基本的に、かた絞りで使用した場合は空拭きしません。

今回の新型コロナウイルスの問題は、我々に清掃の本来の意義を改めて見直す機会を与えてくれているのではないかと思います。一番大切なことは「**病原性微生物をもらわない、まき散らさない**」です。強い消毒剤に頼るだけではなく、正しい知識と正確な情報、そして正しい方法で対応することが大事です。

参考:効用別の消毒薬 出典:『2019年度版 病院清掃の基本と実務』,公益社団法人全国ビルメンテナンス協会, p41

| 水準     | 消毒薬の種類                   | 一般細菌 | 緑膿菌 | MRSA | 結核菌 | 真菌(糸状菌) | 芽胞 | HBI | HIV | 用途 |    |    |    |     |
|--------|--------------------------|------|-----|------|-----|---------|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
|        |                          |      |     |      |     |         |    |     |     | 皮膚 | 創傷 | 器具 | 環境 | 排泄物 |
| 高水準消毒薬 | グルタラル                    | ○    | ○   | ○    | ○   | ○       | ○  | ○   | ○   | ×  | ×  | ○  | ×  | ×   |
|        | フタラル                     | ○    | ○   | ○    | ○   | ○       | ○  | ○   | ○   | ×  | ×  | ○  | ×  | ×   |
|        | 過酢酸                      | ○    | ○   | ○    | ○   | ○       | ○  | ○   | ○   | ×  | ×  | ○  | ×  | ○   |
| 中水準消毒液 | <b>次亜塩素酸ナトリウム</b>        | ○    | ○   | ○    | ○   | ○       | △  | ○   | ○   | ×  | ×  | △  | ○  | △   |
|        | 消毒用エタノール                 | ○    | ○   | ○    | ○   | △       | ×  | ○   | ○   | ○  | ×  | ○  | △  | ×   |
|        | ポピドンヨード                  | ○    | ○   | ○    | ○   | ○       | △  | ○   | ○   | ○  | ×  | ×  | ×  | ×   |
|        | ベンザルコニウム塩化物+エタノール擦式製剤    | ○    | ○   | ○    | ○   | △       | ×  | ○   | ○   | ○  | ×  | △  | △  | ×   |
| 低水準消毒液 | クロルヘキシジングルコン塩酸+エタノール擦式製剤 | ○    | ○   | ○    | ○   | △       | ×  | ○   | ○   | ○  | ×  | △  | △  | ×   |
|        | 両性界面活性剤                  | ○    | ○   | ○    | ○   | △       | ×  | —   | —   | △  | △  | ○  | ○  | ×   |
|        | 第四級アンモニウム塩               | ○    | ○   | ○    | ×   | △       | ×  | —   | —   | △  | △  | ○  | ○  | ×   |
|        | クロルヘキシジングルコン塩酸           | ○    | ○   | ○    | ×   | △       | ×  | —   | —   | ○  | ○  | ▲  | ▲  | ×   |

MRSA:メチチリン耐性黄色ぶどう球菌  
HBV:B型肝炎ウイルス  
HIV:ヒト免疫不全ウイルス

○:有効  
△:十分な効果が得られない場合がある  
×:無効  
—:効果を確認した報告がない

○:使用に適する  
△:場合により使用  
▲:承認されているが、ごく限られた場合のみ使用  
×:無効

※高水準の消毒薬は人体にも害がありますので清掃では使いません

埼玉支店全員で「ワンチーム」  
お客さまへ迅速・丁寧な価値提供を



グローブシップ(株)埼玉支店は、1997年4月、旧ビル代行の埼玉営業所として開設されました。当時は首都圏をはじめ、群馬、栃木、茨城、山梨に既に営業拠点があつたなか、埼玉は未進出エリアでしたが、大宮・浦和・与野地域の再開発計画による市場拡大を見据えてオープン。2010年4月には一営業所から埼玉支店へと組織体制が強化され、現在の従業員数は支店員8名を含む約100名となっています。

同支店は、埼玉県全域を営業エリアとしていますが、大規模なオフィスビルがある地区は新幹線・在来線のターミナル駅である大宮駅前エリア、さいたま新都心エリアの2カ所に集中しています。支店事務所もその中心に位置するため、お客さまに対しては日頃からよりスピーディできめ細やかなサービスをご提供させていただいています。

「失敗を恐れずに常にチャレン

現場で光る女性の力



■岡村和恵  
明治安田生命さいたま新都心ビル出張所  
埼玉支店初の女性設備員。「建物設備の知識を幅広く習得したい」と意欲的で、2019年の秋から現場に配属されました。お客さま対応はもちろん、周囲への明るく細やかな心遣いを欠かしません。

ジできる支店でありたい。支店全員が互いを信頼し「ワンチーム」となって日々の業務に取り組んでいます」と熱く語るのは、日高直人支店長。

今後はお客さまの要望にお応えしながらも、皆が生き生きと働きやすい職場づくりの両立を目指したい、と意欲をのぞかせています。

支店情報

グローブシップ株式会社 埼玉支店

- 所在地：埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-75 太陽生命大宮吉敷町ビル
- 管理物件数：50件
- 従業員：約100人(パート含)



埼玉支店 支店長 日高直人

支店は少数精鋭だからこそ、機動力が何より重要です。「迅速対応」をモットーに、チーム一丸となるよう運営をしています。今後もお客さまに価値あるサービスが提供できるよう、努力してまいります。

最新・法令点検情報

蛍光灯照明使用率0%に備えて  
2030年に向けたLED照明導入

安全品質推進部 企画推進課

照明器具や電球・光源類に関する国内および国際規格対応などを行う、一般社団法人日本照明工業会(JLMA)では、政府目標の「エネルギー基本計画」を受け「照明成長戦略Lightning Vision2030」を策定しています。

この計画では、2006年度の従来光源器具(蛍光灯照明)使用率100%を規準として、2020年度には70%まで、2030年度には0%へと段階的に削減することを目標に掲げています。これにより、国内の照明器具メーカーでは、従来光源器具の生産減少や中止が順次行われることが予想されます。

■公表情報(一例)

蛍光灯照明器具の生産終了

|         |         |      |
|---------|---------|------|
| 東芝ライテック | 2017年3月 | 生産終了 |
| 岩崎電機    | 2018年9月 | 生産終了 |
| パナソニック  | 2019年3月 | 生産終了 |

蛍光灯ランプの生産終了

|      |         |      |
|------|---------|------|
| 岩崎電気 | 2019年3月 | 生産終了 |
|------|---------|------|

上記の情報は一例ですが、蛍光灯管をご使用の場合、大手メーカー製品が欠品するようになれば品質は保証されません。LED照明なら、省エネルギーで長寿命ですので管球交換の手間と費用が削減できます。こうしたことを踏まえ、グローブシップでは、全てのビルオーナー様にLED照明の導入をお勧めいたします。

LED照明の導入方法については、費用負担の大きいものから順に4つの方法があります。まず、器具代金と交換工事費用の負担のある①照明器具ごと交換する方法、次に、器具は既存のものを利用して、安定器の切断工事が発生する②管のみLED管に交換する方法、さらに、初期費用は発生せず、リース代と安定器の切断工事が必要な③管のみリースによ

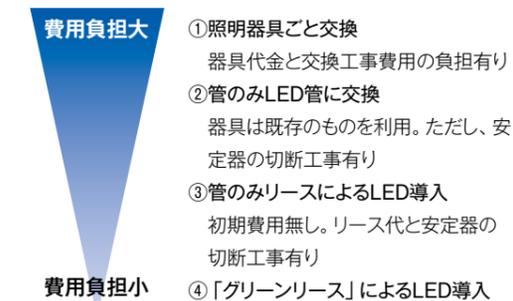
るLED導入する方法、そして、④「グリーンリース」によるLED導入する方法です。

もっともLED照明の導入は、ビルオーナー様と入居テナント様にとって「電気料金を削減したい」「明るい室内にしたい」という思いの部分では共通していても、双方の立場や条件が違うため、必ずしも同じご要望にならないこともあります。そうした状況であってもグローブシップでは、ビルオーナー様のご意向を伺いながら、対象となるビル建物にとって最適なプランを提案いたします。

現時点では、全ての照明設備を一度に変更しなければならないような差し迫った時期ではありません。しかし、照明設備の品質保持のためにも、2030年に向けて、ぜひ余裕をもって早めに導入・移行する準備をお勧めいたします。

ご不明な点がございましたら、まずは当社の担当営業部までお気軽にお問い合わせください。

図. LED照明の導入方法の種類



※グリーンリース……ビルオーナーと入居テナントが、省エネなどの環境負荷の低減や執務環境の改善について契約や覚書等によって自主的に取り決め、実践すること。この取り組みにより、ビルオーナーと入居テナントの双方が光熱費削減等の恩恵を受けることができます。

参考サイト

照明成長戦略 Lighting Vision 2030 (JLMA)  
[https://www.jlma.or.jp/about/vision/pdf/LV2030\\_webM.pdf](https://www.jlma.or.jp/about/vision/pdf/LV2030_webM.pdf)

## 収穫時期、ぞくぞく到来。

### ソーシャルファームで障がい者のやりがいを見出す

グローブシップでは、ダイバーシティの一環として、農園の活用による障がい者雇用促進に取り組んでいます。2019年6月には、ハウス農園を運営しているエスプールプラス社と連携し、「さいたま岩槻ファーム」(さいたま市)で、9人の従業員を迎えました。

当初は土がむき出しだったハウス農園を、約5か月かけてメンバー全員で整地。栽培可能な畑に整える地道な作業を続けました。新しい畑には、白菜や小松菜をはじめ、ほうれん草や春菊など約10種の作物を栽培しています。そしてようやく12月に収穫の時期を迎えました。

障がい者の雇用創出を目的としたハウス農園の敷地面積は約1万2,000㎡。現在約190社が利用しており、畑では指導者(農場長)と障がい者従業員が協力して作物を生産しています。同農場では従業員の安全性を確保するため、作業用の資器材に刃物は

自分たちで育てた野菜に笑顔が溢れる



使わず、全て樹脂製の軽い道具を用います。また、害虫が発生しにくく汚れにくい人口栽培土を使用するなど、障がい者が働きやすい環境づくりのノウハウが集約されています。

農場長の松下は「現場では全般的にフォローが必要なため、業務は多岐にわたり厳しい面もありますが、作業中に笑顔が見られると“やってて良かった”と感じます」と歩みを振り返ります。また、人事部ダイバーシティ推進室長の日名子は「農園には定期的に訪れ、配慮はしながらも健常者と同様に接しています。継続して勤務いただけるようにサポートしたい」と語ります。

今後も一人ひとりの状態に配慮しつつ、働きやすい職場づくりに取り組んでいく方針です。



やわらかくて美味しい野菜づくりに取り組む



畑のあちこちで野菜が収穫時期を迎えている



収穫後の土を掘り起こし、根を取りのぞいて再利用する地道な作業

作業の安全性に配慮された資器材



収穫した野菜につける手作りのラベル



## ロボットFM開発部の新設

### 人とロボットの協働

2020年1月31日付けで、「ロボットFM開発部」を新設しました。同部は清掃業務など施設管理業務を遂行する際に、ロボット機材を利用した新たなビ

ジネスモデルを構築、展開することを目的に、人とロボットが協業することで生まれる、新たな業務価値、品質を提供していく専門部署になります。

## 女性活躍推進研修会を開催

### 支店間の連携を強化

1月24日に西日本事業部主催の「女性活躍推進研修会」を大阪支店で開催しました。

- ①グローブシップをより深く知ってもらうための会社現況の説明
- ②コミュニケーション力UP研修
- ③電話マナー研修
- ④参加者のグループディスカッション

といった4つのプログラム(人事部・教育研修部の講師)を通じて、更なるスキルアップを目指しました。

当日は、西日本事業部傘下の名古屋支店・大阪支店・広島支店・福岡支店から、15名の女性社員が参加。普段、顔を合やすことの少ない支店女性同士ですが、お互いをよく理解し、支店間の連携強化に

もなりました。

研修後のアンケートには「電話でしか話したことがなかった他支店のみなさんと、いろいろな話しができてとても良かった」「新しい気付きを得て、大変勉強になった」といった前向きな意見が数多くありました。各プログラムとも積極的な発言が多く、中身の濃い充実した研修となりました。



## ファシリティマネジメントフォーラム2020で報告

### ファシリティマネジャー (FM'er) を育てる

2月21日、タワーホール船堀で第14回日本ファシリティマネジメント大会が開催され、JFMA(日本ファシリティマネジメント協会)の運営維持研究手法部会に参加している猪股FMグローバル事業部長代理が、「ファシリティマネジャー (FM'er) を育てるヒント(初級者編)」について報告しました。猪股事業部長代理は、運営維持の業務に関わるリスク

対応や効率化・省力化を念頭に置き、設備・清掃・警備の業務視点から現場の課題を洗い出し、課題解決のきっかけになるようにと作成されたガイドブックから、初めてFM'erになった人が清掃カテゴリで優先的に知っておくべき知識、マネジメントの注意点など、さまざまな事例を挙げながら紹介しました。

編集後記——昨年12月にシンガポールに出張した際、街を散策しました。まだ新型コロナウイルス感染が問題になる前のため、街ではブランドショップに行列ができ、日本人や中国人も含め、繁華街は賑わっていました。街の人に聞くと、シンガポールの観光は景気が良いと。その理由は香港の民主化デモが長引く影響で観光客がシンガポールに流れ、韓国の観光客も日韓等の政治関係を反映してこちらに流れてきているということでした。シンガポールは東京都の23区よりもやや大きい程度の面積に564万人の人口を擁し、1人あたり名目GDPは5万ドルを超え、アジア第1位です。その原動力は医療、教育、金融、IT、貿易、観光業などソフトですが、世界的なグローバル化とデジタル化の中でこれまでの強みが継続できるか正念場を迎えています。

GS way 9号 2020年3月24日発行  
発行：グローブシップ株式会社 総務部  
東京都港区芝4-11-3 芝フロントビル  
TEL.03-6362-9701

©YOSHITERU TAKAHASHI/SEBUN PHOTO/amanaimages  
写真：マリンプレスジャパン/アフロ  
※本誌記事・写真の無断転載・転用・複製複製(コピー)を禁じます。

「人生100年」時代、**アクティブ・ハンドレッド**を目指そう！

## 其の九 武蔵の「必勝食」は 焼きおにぎり

永山久夫 食文化史研究家



### ◆不敗の剣士・宮本武蔵

今から400年ほど前。無敗の武芸者がいた。その男こそ宮本武蔵(1584?~1645)で、生涯に60余度の立ち会いをしながら、一度も負けていないのである。武蔵の凄さは、剣技を追求するだけではあきたらず、自分の肉体そのものを鋭い刀剣のように鍛えようとした点。

武蔵が活躍したのは、戦国時代の末期から江戸初期にかけてであるが、乱世が終息したわけではなく、まだまだ武力が重視されていた。

武蔵が有名になると、命をねらわれたり、勝負を挑む武士が次々と出現。武蔵に勝てば名が上がり、各地の大名などから、仕官勧誘の声が殺到すると思われていたのである。しかし、残念ながら倒れるのはいつも挑戦する方であった。

有名なのは巖流島で行われた佐々木小次郎との決闘であるが、これも木刀の一撃で倒してしまう。

武蔵は、日々の修行もおろそかにしなかった。修行といっても師がいるわけではなく、晩年に記した『五輪書』の中で、「われに師匠なし」とあるように剣技はすべて独学だから凄い。

### ◆玄米のめしの焼きおにぎりで勝て！

武蔵の強い肉体を支えたのは食事の仕方であった。

剣士として必要な成分をとっていなかったら烈しいスピリットは湧いてこない。

彼は「身ひとつに美食を好まず」とも言っている。「俺はグルメはきらいだ」という意味。当時の武士は1日に玄米5合(約780g)を食べており、武蔵も基本的に同じとみてよい。これに大根(葉も)、里いも、ごぼう、青菜など旬の野菜が山ほど入ったみそ汁がつく。



玄米には、剣士の筋肉と脳のエネルギー源となる炭水化物が多く、その炭水化物を完全燃焼させるために不可欠なビタミンB1もたっぷり。つまり、玄米のめしは、脳にも筋肉にも理想食なのだ。

武蔵は、武者修行に出る時などには、大きな焼きおにぎりを5個位は腰にまきつけて、持参しただろう。生みそを多めに塗りつけて焼いたのが「焼きめし」で香ばしくて美味。

みそには冷静な思考力をもたらす脳内物質・セロトニンの原料となる必須アミノ酸のトリプトファンが多いから敵の出方をクールに分析する精神を生むのだ。武蔵は62歳と当時としては長生きし生涯現役であった。

永山久夫 食文化史研究家 1932年生まれ。古代から明治時代までの食事復元研究の第一人者。長寿食や健脳食の研究者でもあり、長寿村の食生活を長年にわたり調査している。『「和の食」全史』ほか著書多数。